作成日：令和８年９月16日

令和８年度　第３回　高松圏域自立支援協議会　就労支援部会議事録

日付	令和８年９月16日（水）
時間	１３時３０分～１５時００分
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室
参加機関等	Doやまびこ、ウィズくすがみ、ピーノ、ゆうちゃん弁当、ワイワイ創造館、ほまれの家、ハピクル、あじさい、香川東部支援学校、高松支援学校、聴覚支援学校、高等技術学校、かがわ総合リハビリテーションセンター、ウェルビー、ヒトトコ、LITALICO、障害者就業・生活支援センター共生、障害者就業・生活支援センターオリーブ、基幹相談支援センター（中核）、地域生活支援センターほっと、支援センターあい、高松公共職業安定所、高松市障がい福祉課 順不同　計24名

議題１：地域課題について（グループワーク）※5月協議の継続	
議事	5月11日に協議された地域課題について、今回のグループワークでは現状や要因をさらに掘り下げ、具体的な対応策や今後の方向性について意見交換を行った。 （グループ1） テーマ：企業の理解・職場環境・職務設計 【課題】 ・企業側と支援者側で利用者評価にギャップがある ・現場と本社・管理部門との間で、障害理解や認識に乖離がある ・障害特性への理解不足から採用や定着につながりにくい ・障害者雇用の好事例が十分に共有されていない 【今後の取組み・提案】 ・企業と支援者が相互に情報共有し、利用者理解の精度を高める ・管理職や現場を含めた組織全体で障害者雇用への理解を深める ・見学や実習を通じて働くイメージを具体化する ・障害者雇用の好事例をデータベース化し共有する （グループ2）

	テーマ：通勤・移動手段 【課題】 ・通勤手段不足が就労継続の妨げになっている ・送迎時間が家族や支援者の負担になっている ・最低賃金の上昇に伴い、交通費支給を継続できない事業所もある ・交通費助成や送迎支援に関する制度が十分ではない 【今後の取組み・提案】 ・企業が連携した合同送迎の仕組みを検討する ・障害者や高齢者向けの共同送迎サービスの可能性を検討する ・グループホームの設置促進や地域生活基盤の整備 　当事者の生活拠点が増えることで、通勤や移動手段の課題がクリアされる場合がある ・他自治体の交通費助成事例を参考に行政に提案を検討する （グループ 3） テーマ：圏域内の企業開拓 【課題】 ・実習受入や採用につながる企業が限られている ・障害特性への理解不足や求める水準が高すぎることのミスマッチ ・本人の希望と企業の条件との調整が難しい ・関係機関の役割が十分周知されていない 【今後の取組み・提案】 ・実習や見学の機会を活用し、企業と利用者双方の理解を深める ・実習受入企業や雇用実績のある企業とのネットワークを活用 ・本人の希望だけでなく、見学や実習を通じて職業理解を深める ・各機関の役割を整理・周知し、相談先が分かりやすい体制づくり （グループ 4） テーマ：圏域内の企業開拓 【課題】 ・精神障害者の採用に、企業がよく分からないと消極的 ・中小企業を中心に障害特性への理解が十分ではない ・家族も一般就労への移行や再挑戦に対する不安や誤解がある ・地域全体での仕組み不足 【今後の取組み・提案】 ・障害者雇用の好事例や実績を発信する ・雇用実績のある企業と連携し、新たな受入企業を開拓する ・家族にも一般就労に関する正しい情報提供を行う

	・企業同士が情報交換できるネットワークを構築する 各課題については、単一の機関だけでは解決が難しいものも多く、就労支援部会として関係機関が連携しながら、地域課題の解決に向けた具体的な取組みや働きかけを進めていくことの重要性が共有された。

議題 2：連絡事項	
議事	（高松支援学校） ・進路ガイド作成に伴う各事業所情報への記入依頼 （ピーノ） ・配置ごとの求人状況の共有 （Do やまびこ） ・11 月から社名変更 （ウィズくすがみ） ・開所 10 周年キャンペーン中

次回は、令和 8 年 11 月 24 日（水）13:30～15:00「就労選択支援事業　実施報告会」を予定

かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室